

坂の上通信

令和四年二月五日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

3年生入試本番

コロナ禍の中、厳戒態勢で臨む

コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、私立大学の入試が本番を迎えている。3年生の今を取材した。

進路指導主事の沖森先生に、入試の大まかなスケジュールについてお話をうかがった。
3年生は1月15日、



放課後も学校で自習し、最後まで努力を続ける3年生

16日の土日に、二回目となる大学入学共通テストに臨んだ。直ちに自己採点を行い、データをしながら国公立大

学の出願校を検討。2月の第一週頃からは私立大学の一般選抜が本格化し、2月25日(金)には国公立大学の前期試験、3月8日(火)に中期試験、12日(土)には後期試験が控えている。
現在ではそれぞれが志望校合格を目指し、目の色を変えて学習に取り組んでいる生徒がほとんどだ。

「学校全体で協力を」

一方で、今年にはコロナ感染予防のため学校を休み、自宅で学習を行う生徒も多いという。学年主任の小波石先生は「受験シーズンを迎えた今、美高ではウイルス対策として不織布マスクの着用、手指消毒を呼びかけ、教室の換気と黙食指導を徹底しています。昼食時も先生方が廊下や教室にいて、注意を呼びかけています。こうした緊迫した状況の中、自分のペースを乱さず目標に向かって頑張る3年生が大勢いるのです。ぜひ学校全体で感染予防を徹底し、協力してください。3年生を気持ちよく送り出しましょう」と呼びかけた。

来年度の受験生へ

進路指導主事より

3年生は入試本番を迎えているが、2年生は受験生0学期を迎えている。進路指導部の沖森先生よりコメントをいただいた。
「2年生のうちに、第一志望校を具体的に決

めておきましょう。そうすると、日々の授業も受験勉強と同じように、気を引き締めて受けるようになります。また、家庭学習の習慣なしに受験を考えると、ありえませんが、教

科担当の先生に、苦手分野の学習方法を聞き、成長を感じられる学習を毎日続けましょう。3年生になった時に困らないよう、家庭学習を習慣づけることが大切です」と力を込めた。

歌は世につれ

歌は世につれ世は歌につれ。歌は、時代のアルバムです。
このコーナーでは、先生方の青春時代の思い出の一曲を、当時のエピソードとともに紹介していただきます。
今回は、数学科の倉

アーティスト	ケツメイシ
曲名	出会いは成長の種

内先生にコメントをお願いしました。
「思えばこれだけ生きてきて、俺は何人の人に出会えたろう？ 願ったような出会いだろう？ 良い奴ばかりでないだろう？... 描いたような出会いだろう？」

か？ 嫌な奴ばかりでないだろう？ この曲を聴くと大学時代の様々な経験を思い出します。高校卒業後はこれまで以上に出会いがあり、出会う人によって人間性は作られます。高校生の頃の私にこんな考えはありませんでした。いろいろな人から学んだことを(良いことも悪いことも)自分にかして成長につなげてください。

私はこう見る

共通テスト・先生方の雑感

国語

四題とも複数のテキストを組み合わせて読む形式でした。やや難化したと言われますが、時間がかかる問題が増えたという印象です。慣れと読解力が絶対必要なので、朝読なども工夫しつつ、評論文を日常的に読むとよいでしょう。古漢は単語・句法など基礎知識で解ける問題も多いので、日々の授業と小テストを大切にしてください。

数学

今年度は予想を大きく超えて難化したという印象です。IA、IIBともに時間内に解くことが困難な問題でした。時間を計って演習する中で、後回しにする問題や捨てる問題を見極めて、全体の得点を上げる練習が必要です。単元を絞ることなく、全ての単元の基礎的な問題を確実に得点できるように意識して学習しましょう。

理科

全ての問題が新傾向ではなく、従来のセンター試験のような問題も多く見られました。定期考査でも扱うセミナーの問題を確実に解けるようにしておきたいですね。物理では昨年度から原子の範囲も必答問題になっていますが、3年生の最後に学習するため、共通テストまで時間があります。授業で確実に定着させましょう。

地歴・公民

日本史では教科書にない史料を扱った問題が増加しました。どの時代のどのような出来事に関わるのか、学んだ知識と関連付けて読み取る訓練が欠かせません。会話文や生徒のレポートを読み論理を後追いさせる、いわゆる「思考の追体験」を求める問題も見られました。演習を多くこなす、歴史的思考法を会得する必要があります。

外国語

大学により換算方式は違いますが、リスニングの配点が高いので意識して学習しましょう。内容も日常会話から料理のレシピまで様々です。TVや映画など英語を聞く機会を意識してください。リーディングは文章が増加傾向にありますので、共通形式の文章を素早く読む練習をしましょう。外部試験の学習も役立つと思われる。

学校の「顔」にインタビュー



今回は家庭科の西村先生にお話を伺った。なぜ先生になったのですか？

高校での教育実習がきっかけです。色々な実習をして、もっと人

と関われる仕事に就きたいと考えて、家庭科教員になりました。

休日は何をしていますか？
コロナで実習や授業内容の変更が多く、学

校に来て教材を作ることも多いです。家にいる時は、子どもと話をしたり動画を見たりしています。

美高生に一言。
コロナ禍が続いて家にこもりがちですが、こういう時こそできることに挑戦して、皆さんの長所を伸ばしていただく。

編集後記

桜が満開に咲きますように。

美・鈴・鈴・鈴

新型コロナウイルスは社会のあらゆる面に影を落とす。3年生の入試もその一つだ。▼全国では、共通テストを受けられなかった受験生約1660人が追試験を受験した。センター試験を通じて、過去二番目の多さだと言う。私学入試への影響は大きく、また心理的な不安もあつただろう。▼受験会場も大変だ。出入口で検温を行い、座席の間隔を空け、濃厚接触者用の別室を設け、アルコールを配置し、1科目終了ごとに換気を行い、いままや当り前となっている光景だが、神経が張りつめている受験生を前にこれだけの感染対策をとるのは、大学側にも大きな緊張を強いられるだろう。▼コロナが原因で受験が難しくなった人のため、入試日程を振り返るなどの対応とる大学も多い。それでも感染予防のために学校に行けなくなつたという受験生もいるようだ。▼春の訪れまであと少し。可能な限り対策をしながら、最後まで努力を続ける。どんな状況になっても、それだけは変わらないはずだ。がんばれ先輩方。(荒川桃花)